



ハッチョウトンボ		トンボ科	熊本県カテゴリー 絶滅危惧ⅠA類（CR） 環境省カテゴリー
<i>Nannophya pygmaea</i> Rambur, 1842			
選定理由	県内局限、近年減少、その他（希少）		
生息環境	丘陵地から山地の背丈の低い植物が生育する湿地や休耕田		上段：雄♂ 下段：雌♀
生息状況	現在確認されているのは天草・県南地域である。天草地域（上天草市）の生息地は保護区に指定されている。しかし、湿地の管理がなされず、個体数は減少している。県南地域（人吉・球磨）では湿地・休耕田の管理がなされず、陸地化が進行し、絶滅の危機にある。		撮影：松崎恵
生存への脅威	自然遷移、管理放棄、捕獲・採集、湿地の乾燥化		
特記事項	保護区でも採集者が見られる。パトロール等の必要性がある。多様性条例（指定希少野生動植物）。		

※「レッドデータブックくまもと2019」より抜粋

（県ホームページ：<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/52/50813.html>）